

令和 7 年 9 月 11 日

課 名 地域政策局

平和推進プロジェクト・チーム

担当者 担当課長（国際連携担当）西澤
内 線 2466

被爆・終戦 80 年 #未来へのおりづるキャンペーン 2025 の 開催結果について

1 要旨・目的

本県の平和の取組への賛同者を拡大するため、核脅威イニシアティブ（NTI）（※）と協働して、SNSを活用したキャンペーンを実施した。被爆・終戦 80 年の節目でもある今年は、大阪・関西万博の広島県ブース『RE:WORLD HIROSHIMA』（出展期間：8 月 5 日～8 月 9 日）にて、キャンペーン連携企画として「おりづるワークショップ」も実施した。

※核脅威イニシアティブ（NTI：Nuclear Threat Initiative）は、大量破壊兵器による破滅的な攻撃や事故を防ぐことを目的とした米国の非営利団体。

2 現状・背景

本県では令和 3 年から毎年広島・長崎から平和への祈りの輪を広げる「#未来へのおりづるキャンペーン」を実施しており、今年で 5 回目を迎えた。

3 キャンペーン概要

(1) 実施主体

広島県/へいわ創造機構ひろしま（HOPe）、長崎県、核脅威イニシアティブ（NTI）

(2) 期間

令和 7 年 8 月 5 日（火）～8 月 9 日（土）

(3) キャンペーン内容

ア SNSの活用

おりづるを折って写真や動画を撮影し、各団体・個人の SNS アカウントから平和へのメッセージとともにハッシュタグ #CranesForOurFuture または #未来へのおりづる を付けて投稿する。



1 おりづるを折り写真や動画を撮影



2 SNSに投稿する



3 家族や友達に呼びかける

イ 大阪・関西万博の広島県ブース『RE:WORLD HIROSHIMA』での「おりづるワークショップ」

さまざまな平和への願いが込められた 8 色の折り紙から好きな色を選んでおりづるを折り、ブースの壁面にあるフォトスポットへ貼り付けて写真や動画を撮影し、個人の SNS アカウントから平和へのメッセージとともにハッシュタグ #CranesForOurFuture または #未来へのおりづる を付けて投稿する。

4 キャンペーン結果

(1) SNSにおける広がり

（推定値）

◆ハッシュタグ付きの投稿数	約 800 件
◆エンゲージメント数（投稿へのいいね、返信、リポスト等の数）	約 18 万 7 千件
◆インプレッション数（投稿閲覧数）	約 1,900 万件

※上記は Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram、TikTok、YouTube の投稿合計（リールや動画を含む）。

ただし、非公開アカウントは含まない。

※投稿者のフォロワー数をインプレッション数（投稿閲覧数）としている。

(2) キャンペーンに向けた働きかけ

キャンペーン開始前には、フリードネス委員長をはじめ、ノーベル委員会の皆様からキャンペーンへの参加を呼びかけていただいた。また、8月6日には、USA TODAYへ知事の寄稿文を掲載するなど、様々な方法を通じてキャンペーンへの参加を呼びかけた。

※USA TODAYは、推定12万人の新聞購読者がいる米国主要紙。知事の寄稿文はSNS等を通し最大約200万人に発信された。



ノーベル委員会の皆様とともに

(3) 著名人等の参加

国内では、スポーツ・アクティベーションひろしまに加盟するスポーツチームの皆様やTSS野球解説者の山内泰幸氏をはじめとするTSS全力応援スポーツLOVERS出演者の皆様、国外では、俳優のジュリアン・ムーア氏、俳優のジョージ・タケイ氏等、多くの方にご参加いただいた。



TSS全力応援スポーツLOVERS出演者の皆様

(4) 大阪・関西万博の広島県ブースとの連携

大阪・関西万博の広島県ブース『RE:WORLD HIROSHIMA』（出展期間：8月5日～9日）にて、キャンペーン連携企画として「おりづるワークショップ」を実施した。5日間で1万3,808人が広島県ブースへ来場し、うち5,419人が「おりづるワークショップ」に参加した。参加者が折ったおりづるは、千羽鶴の形にし、後日平和記念公園へ奉納する。



おりづるワークショップにて

5 成果

- 被爆・終戦80年の節目の年であり、また日本被団協のノーベル平和賞授賞により、「核兵器のない平和な世界」を目指す機運が高まる中で、ノーベル委員会との連携や米国主要紙への寄稿文を通じたキャンペーン紹介などにより、日米を中心に、効果的にキャンペーンへの参加を呼びかけることができた。
- 大阪・関西万博の広島県ブースでの「おりづるワークショップ」は、他の展示との一体的な運営もあり、国内外からの来場者に、核兵器問題への理解を深めていただくとともに、メディアの関心を高めることができた。

6 予算（単県）

2,500千円

7 その他

【県公式ウェブサイト】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/action-cranes.html>

【2025年大阪・関西万博】広島県関連情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/182/expo2025.html>

【USA TODAY への知事寄稿文】

[Hiroshima survivors offer warning on nuclear weapons. Listen | Opinion](#)